



岩垣 和彦 議員

様々な分野で 人材確保が急務

介護士の処遇改善と 人材確保

【問】介護を必要とする高齢者の増加に対応し施設も増加。今後、介護のための離職者をなくす取り組みをどう進めるのか。また多くの介護労働者を必要とする中、低賃金や労働環境の不安を背景に退職する職員も増加。介護事業所で人材確保が求められる中で市の対応は。

【答】一昨年から市内の高校と事業者と連携し介護講習を実施。また介護を理由に退職した方への支援に福祉サービス総合相談支援センターで介護に関する悩み・相談ごとの解決に向け取り組んでいる。国・県・市が連携して取り組むことが重要で

介護職員の確保、労働環境の整備は、重要な責務であり、独自対策に向け今後も研究する。

保育士確保と処遇改善

【問】子育て支援充実に伴い入園者が増加。反面、保育士確保が困難な状況。保育士の給与も低水準と指摘される。保育士の人材確保と処遇改善への対応は。

【答】保育士資格を有する方に保育士ネットへ登録をしていただき保育園の求人情報や各種研修の案内を提供。また、今年度から私立保育園の給付費に処遇改善に必要な経費を加算。更に、公立保育園の臨時保育士の賃金見直しを検討。今後も国が示す対策と併せて努力する。



松山 篤夫 議員

飛騨高山土産に 飛騨牛を！

飛騨牛の 販売戦略について

【問】牛肉等の国外持ち出し緩和の流れの中で、土産品としての飛騨牛マーケティング戦略は。

【答】飛騨牛をお土産品として買っていただければ、より地域経済に貢献することになるので、事業者の取り組みを促進したい。

【問】「雪中熟成飛騨牛」は新たなブランド商品になるのでは。

【答】食品衛生上の課題はあるが、将来の可能性はあると考えている。

林業施策について

【問】市は間伐材などを地域通貨で買い取る「木の駅プロジェクト」をスタートさせるが、取り組み内容と今後の

展望は。

【答】木の駅に材を搬入すると、その対価として地域通貨が支払われる仕組みである。自伐林家の活動を促し、地域活性化につながることを考えている。

観光施策について

【問】「高山市手話でもてなし条例」の制定により、すべての人の心が通じ合い、安心して訪れ、滞在していただけるユニバーサルツーリズムの推進を。

【答】現在のところ制定は考えていない。

【問】外国人旅行者向け消費税免税制度が観光消費額に及ぼした影響は。

【答】大きく寄与している。消費税免税店のさらなる増加に取り組む。



谷澤 政司 議員

市の事業には市職員・ 議員は 「腕より始めよ」

平和への取り組み

【問】平和都市宣言の取り組み状況は。

【答】小中高生や各種団体、市民の皆さんから意見を伺い、市民総意の宣言となるよう進めたい。

地場特産物の 販売促進

【問】スマートフォン・フェイスブックなど活用して販売促進を。

【答】ITを活用して販路拡大を普及促進していく。

給食センターの 民間委託を

【問】国の方針にあわせ、民間活力を利用し、早急に民間委託の実施を。

【答】給食調理や運搬など部分委託を検討して

いく。

【問】市職員自らが取り組むことで、市民への啓発につながる、その考えは。

【答】職員についても取り組めることから実施するよう啓発していく。

障がい者福祉の充実

【問】高山市の面積は広く、就労支援事業所へ通う交通費の負担が大きいことから、補助制度を設ける考えは。

【答】障がい者の収入を増やすための工賃アップが必要であることも踏まえ、今後研究していく。

その研究する期間は28年度に行い、29年度当初から始めてほしい。